

6 映像コミュニケーション

# AI や VR を活用した映像ソリューションにより コミュニケーション改革 / イノベーションを実現

AI や VR( 仮想現実 ) といった技術を活用し、新たな映像コミュニケーションを実現する取り組みが進んでいる。NTT コミュニケーションズ ( 以下、NTT Com ) はシステム基盤からアプリケーション、運用サービスまで提供できる体制と、蓄積してきたノウハウを活かし、イノベーションの実現につながるような映像コミュニケーション活用の提案を進めている。

## 新たな映像コミュニケーション でイノベーションを実現

近年「VRによる疑似体験」、「AIによるサポート」、「ホログラムによる高い臨場感」といった新技術の活用も可能になり、映像コミュニケーションの新時代が到来している。さまざまな映像ソリューションを提供してきたNTT Comも、新技術を活用してお客さまのコミュニケーション改革やイノベーションを実現しようとしている。

「厚生労働省 / 経済産業省によるレポートでは、イノベーションの実現に必要なことが挙げられています。重要なのは『現場主導の社員教

育・訓練』、『組織内外の壁を越えた協働』、『社員の試行錯誤』です。私どもはこの実践に、新たな映像コミュニケーションが役立つと考えており、積極的にソリューション開発や提案を進めています。」(難波氏)

## 最新技術による 映像コミュニケーションの例

NTT Com が取り組んでいる新たな映像コミュニケーションの活用例をいくつか紹介する。



NTT コミュニケーションズ株式会社 ICT コンサルティング本部  
(中央) 担当課長 前側 文仁氏  
(左) 主査 難波 健一郎氏 (右) 主査 田中 雅教氏

### ■匠のスキル継承

人手不足が社会課題となる中、製造業やサービス業の現場では「匠」が持つ高いスキルを継承すべく、匠によるレクチャーの実施、ノウハウのマニュアル化などが検討されている。さらにVRを活用した効果的なスキル継承の取り組みも進められている。

具体的には、VR空間で匠の目線を仮想的に体験できるようにする。VRで匠の目線を疑似体験することにより、記憶定着率が向上したという調査結果もある。

NTT ComにはVRコンテンツの制作ノウハウもあり、インフラ提供からワンストップでVR活用の相談に応えることが可能だ。

### ■多様な人材の交流

セミナーや新商品の発表会の映像配信や社内研修への活用、海外拠点

## 新たな映像コミュニケーション



匠のスキル継承

▶ 現場主導の社員教育・訓練



多様な人材の交流

▶ 組織内外の壁を越えた協働



設計業務の効率化

▶ 社員の試行錯誤

## イノベーション実現

図1 イノベーション実現に役立つ新たな映像コミュニケーション

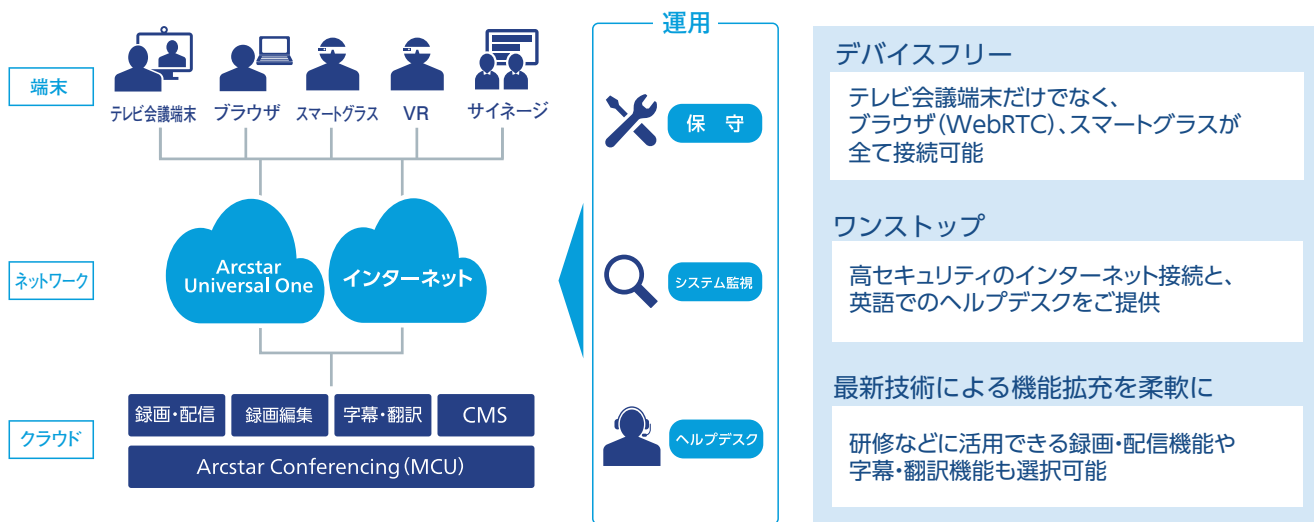


図2 映像コミュニケーションクラウドソリューションの特長

のメンテナンスサポートなど、映像活用のニーズは多い。しかし言語の違いなどの理由から、映像を有効活用できていない企業が少なくない。そこで会話の音声を自動でテキスト化し、さらに翻訳することで、映像を使ったタイムリーな情報伝達を可能にするソリューションの提供準備が進んでいる。

具体的には自然言語解析は“COTOHA® API”、翻訳は“COTOHA Translator™”といったように、NTT研究所をはじめとするNTTグループの技術を活用する。COTOHA® APIは世界最大級の210万語を超える日本語辞書を活用し、文脈に応じた単語の意味まで正確に理解できる点が特長。COTOHA Translator™はTOEIC900レベルの人が7時間かかる翻訳を、同等以上の品質で、しかも約2分で完了することが可能だ。2018年10月には英語に加えて中国語にも対応した。

この仕組みをスマートグラスに応用すれば、言語の違いを乗り越え、

海外の現場担当者とリアルタイムにコミュニケーションを取ることも可能になる。

#### ■設計業務の効率化

さまざまな物の設計やデザインをするために必要となる、プロトタイプ制作やテスト、レビューといった作業には、複雑な物であるほど莫大な時間とコストがかかる。そこで設計データからバーチャルなプロトタイプを制作し、VR空間でレビューできるようにする取り組みが進められている。設計データから作成する正確な3DCGで出来上がりを確認できるほか、VR空間でのレビューにはどこからでも参加できるため、大幅な利便性、効率の向上が見込まれる。コストと時間を気にせず、トライ＆エラーを繰り返せるメリットは大きい。

#### 新たな映像コミュニケーションクラウドソリューションの提供

NTT Comは従来、クラウド型会議サービス“Arcstar Conferencing”を提供しているが、新たな映像コ

ミュニケーションを可能にする各種機能を組み合わせ、クラウドソリューションとして提供する。

「AI、VR、スマートグラスのような新技術を順次採り入れ、お客さまのコミュニケーション改革やイノベーションを実現する新たな映像コミュニケーションを提供していく方針です(図2)。課題解決に向けたコンサルティングからシステム導入、システム運用・監視に加え、英語にも対応するヘルプデスクまで、ワンストップで提供します。」(田中氏)

今後に向けた思いを、前側氏は次のように述べている。

「今後、現実と仮想空間をまたがって、さまざまなものをつないでいく新しいコミュニケーションが、企業にとってより重要になると考えています。『誰と誰をつなぐか』、『どのようにつなぐか』、『業務に映像コミュニケーションをいかに取り入れるのか』といった課題をお持ちのお客さまは、是非私どもにご相談いただければ、と思います。」(前側氏)